

ピアノ公開レッスン

講師：ヤコブ・ロイシュナー

2025 年 11 月 5 日 (水) 16:30 開演 (16:00 開場)

会場：講堂小ホール 入場無料

通訳：江澤 聖子 (本学教授)

～～ヤコブ・ロイシュナーによるミニコンサート～～

こどもの情景 作品 15 R.シューマン (1810-56)
Kinderszenen Op.15 Robert Schumann

3つの間奏曲 作品 117 J.ブラームス (1833-97)
Drei Intermezzi Op.117 Johannes Brahms

～～公開レッスン～～

1) 北林 蘭太郎 (学部 3 年) KITABAYASHI Mayutaro

24 の前奏曲とフーガ 作品 87 より 第 24 番 ニ短調 D.ショスタコーヴィチ (1906-75)
From 24 Preludes and Fugues Op.87 No.24 d-moll Dmitri Shostakovich

2) 江崎 明花 (学部 4 年) ESAKI Meika

ピアノソナタ 第 2 番 変ロ短調 作品 36 (1931 年改訂版) 第 1 楽章 S.ラフマニノフ (1873-1943)
Sonata for piano No.2 b-flat minor Op.36(1931version) 1st mov. Sergei Rakhmaninov

～～講師プロフィール～～

ヤコブ・ロイシュナー (Jacob Leuschner)

1974 年フライブルクに生まれ、フライブルクとリュベックの大学にて学ぶ。これまでにヘルムート・バルト、ミシェル・ペロフ、コンラート・エルザー、レオナルド・ホカンソンの各氏に師事。1989 年からはソリスト、室内楽奏者としてヨーロッパ各国や日本、中国、韓国、アメリカでコンサート活動を行い、多くの国際音楽祭に招かれ定期的に出演している。

ベートーヴェン(ウィーン)、ヴィオッティ、シューベルト(ドルトムント)、モーツァルト(ザルツブルク)、リーズ、モンツァ、ドイツ音楽コンクールなど数々の国際コンクールでの受賞、及びポッセル音楽賞、カイ・ウーヴェ・フォン・ハッセル賞、ヴィースバーデン・モーツァルト賞を受賞している。

これまでに、リュベック音楽大学で教鞭をとり、ワイマールのフランツリスト音楽大学で客員教授を務めた。2008 年から 2014 年まではケルン音楽大学で教授を務め、その後デトモルト音楽大学で教授となり現在に至る。また、定期的にヨーロッパ諸国、日本、中国、韓国でマスタークラスを行っている。

レパートリーはルネサンスから現代にまで及ぶ。特にウィーン古典派の作品を得意とし、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルトの全てのピアノ・ソナタを連続演奏会で繰り返し演奏してきた。

国際ピアノコンクールの審査員としても活躍。デトモルトブラームス国際ピアノコンクールを創設し、その芸術監督も務めている。

M.レーガーのチェロとピアノのための作品全集 (チェロ：グイド・シーフェン/オームス・クラシックス)といった数多くの室内楽作品のほか、ベートーヴェンの後期ソナタやリストの編曲作品などをリリース。2017 年には 2 枚のソロ CD に加え、モーツァルトのピアノとヴァイオリンのためのソナタ全曲(ヴァイオリン：漆原啓子/日本アコースティックレコード) がリリースされ、日本文化庁より優秀賞を受賞した。2019 年 12 月にはベートーヴェンのディアベリ変奏曲がパーフェクトノイズレーベルからリリースされた。

※ 就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。

※ やむを得ない事情により出演者や内容等が変更になる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

